

平成22年度第4回富里市国民健康保険運営協議会会議録 要点筆記

招集年月日	平成23年 2月 8日		
招集の場所	富里市役所 3階 第3会議室		
開会・閉会の時間	開会 平成23年 2月17日 9時30分 閉会 平成23年 2月17日 11時42分		
会長 会長職務代理	氏名	出欠等の別	届出の有無
	秋本 真利		
	高橋 保夫		
	池田 明		
	綿貫 文雄		
	大竹 俊子		
	佐久間 弘子		
	我妻 道生	欠	有
	内田 啓二		
	麻野 邦子		
会議録署名委員	秋本 真利		
説明のため出席した者の職氏名	課長	大竹 明男	
	主査	甲田 修巳	
	主査	君塚 純	
職務のため出席した者の職氏名			
会議に附した事件	別紙のとおり		
会議の経過	別紙のとおり		

平成22年度第4回富里市国民健康保険運営協議会会議次第

日 時 平成23年2月17日(木)
午前9時30分～
場 所 市役所3階第3会議室

1 開 会

2 議 題

- (1) 平成22年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(案)について 資料1 資料1-1
- (2) 平成23年度富里市国民健康保険特別会計当初予算(案)について 資料2
- (3) 富里市国民健康保険条例の一部改正(案)について 資料3
- (4) 富里市国民健康保険税条例の一部改正(案)について 資料4

3 その他

一部負担金の徴収猶予及び減免について(法44条関係) 資料5

4 閉 会

議題

(1) 平成22年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(案)について

3月に上程している補正予算は年度末ということもあり、それぞれの費目に対して現時点で分かる限りの精算行為を行っている。また、景気の低迷により調定額が下がっているため収納額が減少しており、国保税を減額し、一般会計からのその他一般会計繰入金を増額している。

歳入の国民健康保険税マイナスの1億5千万は貧困が理由なのか、あるいは転出とか所在不明という理由なのか、見込減の内容は。

収納見込減は、納税課と協議の上で目標設定して取り組んできているが、収納の至らない部分と昨今の景気状況等により税収の伸びがないという複合要素である。

昨年も一般財源で補填している。この先もこういう状況になるのではないか。改善策はないのか。納税課を設置して税の一括管理を行っており、改善の兆しが出てきている。また、国保制度自体に構造的な欠陥があるので、国の抜本的な改革を期待している。

社会情勢が悪いだけでなく、制度自体にも起因しているところがあると思う。しかし、それは別の問題である。市の努力も伺えるが、現状を見る限り、根本的な解決には至っていない。もっと思い切ったことを考えてほしい。

収納対策の重要性は認識している。健康診断などの推進により、医療費抑制に努める。構造上の欠陥については国に対して要望している。

保健事業の脳ドック助成金は一人一回当たりどのくらい助成しているのか。また、人間ドックへの補助もやっているか。

1件当たり上限額は2万円、補助率は60パーセント。人間ドックへの助成は、平成20年度に廃止して脳ドック助成へ切り替えた。

採決 拳手全員・・・可決

(2) 平成23年度富里市国民健康保険特別会計当初予算(案)について

当初予算については、現段階での実態数字と従前からの実績数字について勘案して計上している。

前期高齢者交付金や納付金は人数により決まるのか。

前期高齢者交付金は市町村だけではなくて社会保険まで含めた保険者間の65歳から74歳までの前期高齢者の方の数などで決まる。国民健康保険は退職後に加入する保険なので、60歳以上の方が増えると交付金も増える。

基金の残高がだんだん減ってきている。これについてはどういう感想を持っているのか。

現在は、予算の残額の一定額を基金に繰り入れているもので計画的な積立ができない状況である。当市の予算規模での基金の保有額は、約1億6千万円程度である。

当初予算は徴収率何パーセントで組んでいるか。

現年度分は、平成 22 年度当初予算編成時は 84%、平成 22 年度決算見込みは 77~78%になる。平成 23 年度の当初予算は約 80 パーセントになる。

現実に近い数字に下げて予算編成したということだが、収納の状況によってはさらに減る可能性もある。保険税の一部改正という条例改正が議題にあるが、これは当初予算へ反映されているか。また、いくら見込んでいるのか。

12 月現在で課税限度額を超過している世帯は約 300 世帯である。調定で約 1,100 万円、歳入として約 900 万円の増を見込んでいる。

千葉県の収納率は 19 年度で 88.65%であり、収納見込みを 80%で見込んでいるのは、目標が低いのではないか。せめて千葉県の収納率くらいの設定はできないのか。

歳入目標を高く見えてしまうと歳入欠損ということになるので、現実的な数字ということで納税課と協議し、総合的に勘案した結果として見込んでいる。

80%で予算を計上しているが、現実的に 76,7 パーセントってことになったときに調整交付金は減るのか。

千葉県で広域化等推進方針を策定したため、今年度から減額はされない。

採決 拳手全員・・・可決

(3) 富里市国民健康保険条例の一部改正(案)について

出産育児一時金は原則 38 万円(産科医療補償制度の 3 万円を含む)を支給するとしているところ、少子化対策として附則において平成 21 年 10 月から平成 23 年 3 月までの間、暫定的に 42 万円に引き上げていた。平成 23 年 4 月から 42 万円の支給として恒久化するものである。

改正しなければならない理由は何ですか。

出産育児一時金の額の特例は、今年の 3 月までということでの限定的な措置であり、国からも恒久化するという通知があったためである。

今まで暫定的だったものを恒久化するということであり、大きな変化を伴っているわけではない。

採決 拳手全員・・・可決

(4) 富里市国民健康保険税条例の一部改正(案)について

平成 22 年度の賦課限度額は 73 万円とされているが、本市では 69 万円に据え置いている。さらに厚生労働省保険局国民健康保険課長より平成 23 年度課税分から賦課限度額を 77 万円に引き上げるという通知があったため、限度額を引き上げるものである。

国からの通知を受けてやむなく上げるというのは理解しているが、今の時点で一番の良い方法なのか。もっと徴収率を上げるべきではないか。

国保特別会計の状況は事実として非常に苦しい状況である。大きな原因が収納率にあるということも理解している。今回の法定限度額の引き上げは、全国的なレベルで国保税の限度額を他の保険と同等の額まで段階的に上げていくものである。国からは一般会計からの繰り入れを抑制するようにという政策展開になってきている。法定限度額は、今後も国に準じて引き上げていくことになる。収納率が悪いのに慣れてしまっている。そういう意識を改善してほしい。今の状況で行くと真面目に税金を納めている人達のほうが負担が重くなると受け止められてしまう。国から示されたといっ
て素直に認められない。

収納対策と国が求めている法定限度額の引き上げは、違う側面があるということをご理解いただきたい。国民健康保険の保険証の交付に際しては、厳正に取り扱うようにしてきている。それにより納付の状況も若干ではあるが改善してきている。引き続き努力していく。

収納率の件は、議会と一緒にやりながら対応していただきたい。

一般会計から法定外繰入金を入れないで国保だけで運営するためにはどの程度の額が必要なのか。現時点では一般会計からの法定外繰入金とほぼ同様な額が必要になる。

最高限度額を納めている世帯はほとんど滞納していないと思う。

平均から比べると高い納付をしていただいている。

予算を計上するに当たって十分に審議したのか。

妥当なものなのかどうかは必ず検証している。富里市は収納率が低いため、いわゆる値上げについてはすべきではないと思っている。今回は国策として動いていく部分である。

国は93万円まで上げる予定でいるということだが、以前は限度額の引き上げを数年待った経緯がある。今回は待つということとはできないのか。

過去に限度額の引き上げを据え置いた経緯はある。ただし、毎年上げるといような状況になったのはつい最近であり、基金残高があったので余力があった。今は基金残高も底をついているので、基金による調整もできない状況である。

会議で毎回のよう徴収率の問題が出ているが、目覚しい効果というのが上がっていない。徴収率が低いのに取りやすいところから取るという話になりかねない。徴収率の向上について喫緊の課題として本当に鋭意取り組んでほしい。そうでないと不公平感が拭いきれない。激変緩和措置が取れないものか。

今までは提出された議案について認めてきたが、納税課を設置したにもかかわらず、収納率の成果が見えてこない。いろいろな理由があると思うが、もっと真剣にやってもらうためにはワンクッションおいてもいいのではないか。

限られた人数で収納率のアップというのは、担当課だけの問題ではなく、市全体の問題で対応してもらいたい。議会も含めてすべてが一つになって上げるような形に持って行ってもらいたい。被保険者としては、先に行って一気に上がるよりも4万ずつ上げていく分には、納得できると思う。限度額を上げた場合の影響を受ける世帯は3.2パーセントであり、上げて影響は少ないと思う。滞納は気持ちの問題だと思う。そのような気持ちになるよう仕向けてほしい。

国保税は世帯主に請求されるが、所得がある場合は個人に請求できれば徴収率も少しは良くなるのではないか。

税を上げると徴収率は下がると思う。貧困で困っている方は仕方ないが、預金等を持っていながら払わないって人が中にはいると思う。税の公平性という観点から厳しくやっていただきたい。

問題はやはり収納率に尽きる。景気が悪いのは富里市だけではない。原因は地域性に限ったことではない。収納率が全然改善されていないってことは何かが起因している。それを徹底的分析してほしい。

昔から収納率は問題となっているが、収納率が改善すれば、国保の運営上は問題ないはずである。国としても収納率を向上する方策を示してほしい。一市町村がいくら頑張っても今の方法では持っている財産を没収するという事しかできない。それも逃げてしまって住所を転々とすればもう取れなくなってしまう。そういう人達にはもっと罰則を強化すべきだと思う。

徴収は本当に難しい。居留守を使われたり、払う気がない人は払わない。反対に怒られたりもする。徴収を担当している人には本当に頭が下がる。しかし、何とかして納税するように仕向けてもらいたい。何ヶ月分かの保険税を払えば、何ヶ月分かの保険証がもらえるからという人もいる。私も処方箋を扱っているときに、有効期限が短い場合は声をかけているが、払う気がない人がいる。薬を処方して後でお金を払うとって払わない人もいる。本当に気持ちの問題かなと感じる。常識が欠けている人もいる。みんなで考えていくしかないが、対策は非常に難しい。

4万上がるということに対して、富里市は徴収率が低いのにという話をされる。上げることの説明がつかない。きちんと納税している市民からしてみると、徴収率というところに必ず話が来ると思う。より一層、鋭意努力していただいて、目に見える形で収納率を上げてもらいたい。

国と足並みを揃えて上げるのではなく、数年かけて上げるような激変緩和措置という形がとれないものか。まずは徴収率の向上というものに鋭意努力してもらいたい。

採決 拳手 無・・・否決

その他

一部負担金の徴収猶予及び減免について（法44条関係）

資料5により、全国市町村及び千葉県状況について説明